

策定委員会の開催概要

平成23年11月1日（火）に、「吉野川市都市計画マスタープラン策定委員会」（以下、「策定委員会」という）が開催されました。

今回の策定委員会は、第1回の会議であることから、委員長・副委員長の選出、事務局から「都市計画マスタープランとは」と「吉野川市の現状と課題」についての説明が行われた後、各出席者にて活発な意見交換が行われました。

- ◆開催日時：平成23年11月1日（火）14:00～
- ◆場 所：吉野川市役所（鴨島庁舎）4階 401会議室
- ◆出席委員：策定委員会委員9名（11名中）

	氏名	所属等	備考
学識経験を有する者	近藤 光男	徳島大学大学院教授	委員長
市議会議員	枝澤 幹太	産業建設常任委員会副委員長	欠席
	栗原 五男	産業建設常任委員会委員	
関係行政機関の職員	延 良朗	徳島県都市計画課長	代理出席 堀 英彦
関係団体の代表者又は関係団体から推薦を受けた者	川村 修	JA麻植郡理事・参事	副委員長
	川眞田 博敏	吉野川商工会議所副会頭	
	喜島 寧子	吉野川市婦人会連合会	
	市原 恭子	吉野川市子育て応援団副団長	
	阿部 三郎	吉野川市農業委員会会長	
	重本 清	吉野川市老人クラブ連合会会長	欠席
	藤野井 昭仁	吉野川市PTA連合会会長	

策定委員会の議事

1. 開会
2. 策定委員の委嘱
3. 委員長・副委員長の選出
4. 委員長あいさつ
5. 議事
 - 1) 吉野川市都市計画マスタープランについて
 - ・策定の趣旨、計画の位置づけと役割等
 - ・計画の構成案
 - ・計画の策定方針
 - 2) 吉野川市の現状・課題について
 - ・主要な課題
 - 3) その他
6. 閉会



▲委員会の開催状況

都市計画に関するみなさんの疑問にお答えします！

開催結果の報告を通して、都市計画マスタープランに関する説明や委員や市民の皆様からいただいた質問等にお答えしてきたいと考えています。

都市計画マスタープランの策定や都市計画に関する質問などありましたら、事務局までご連絡ください。

「都市計画」ってなに？

都市計画は、みんなが住みやすいまちづくりを行うためのルールのことだよ。便利な道路や安全に遊べる公園を作る計画をたてたり、ばらばらの種類の建物が建たないように、土地利用のルールを決めたりするものだよ。

「吉野川市都市計画マスタープラン」ってなんのために作るの？

「吉野川市都市計画マスタープラン」は、吉野川市のまちづくりの将来像を示すとともに、都市計画の道路や公園などを決めるときに基本的な方針となるものだよ。

「吉野川市都市計画マスタープラン」はどうやって作るの？

まちづくりには、市民の参加が重要なので、アンケート調査や地域懇談会などを行い、市民の皆様から幅広い意見をいただきながら進めているんだよ。

委員長・副委員長の選出

◆委員長・副委員長の選出について

- ・委員長には徳島大学大学院教授の近藤委員、副委員長にはJA麻植郡理事・参事の川村委員が選出されました。

策定委員会の開催結果

◆吉野川市都市計画マスタープラン策定の進め方等について

- ・今回の吉野川市都市計画マスタープランの策定の進め方等に関する質問等がありましたので、以下に質疑応答の概要をご紹介します。なお、委員意見・事務局回答は、とりまとめにあたって集約整理をさせていただきます。

(委員意見)

- ・20年先を見据えた計画になるとのことですが、長期的な計画を4回の策定委員会で策定できるのでしょうか？

(事務局回答)

- ・市民アンケートや地域別懇談会（ワークショップ）等によって、多様な意見の集約を図りながら事務局案を作成していきます。
- ・策定委員会には、そのような多様な意見を踏まえた事務局案を提示し、委員の皆様意見を踏まえて策定していきたいと考えています。

(委員意見)

- ・アンケート調査を実施したとのことですが、どのぐらいの市民から意見を聞いたのでしょうか？

(事務局回答)

- ・アンケートの総配布数は2,500票とし、4地域（旧町村単位）で人口に応じた配分を行っています。回収数は907票、回収率は36%となっています。この詳細結果については、HP等においても情報提供を行う予定です。

(委員意見)

- ・今回の計画策定には、若い人の意見を反映させることが必要ではないでしょうか？

(委員長回答)

- ・必要に応じて策定委員会への若い人の参加も検討していきたいと考えています。また、委員の皆様方も市民の代表者として積極的なご意見をお願いしたいと考えています。

◆吉野川市の現状と課題について

- ・事務局の「吉野川市の現状と課題について」の説明を踏まえ、各委員の立場や一市民として多様な意見をいただきました。

【事務局から提示された主要な課題（案）】

- 拡大成長型の都市づくりからの転換 …… 人口減少・少子高齢化の対応、市街地の空洞化
- 広域的な拠点としての求心性の工場 …… 拠点性の強化、産業振興、交通ネットワークの強化
- 安心・安全、魅力ある都市の形成 …… 災害への備え、都市基盤整備・都市機能の拡充、自然環境保全
- 市民との協働によるまちづくり …… 市民と行政の協働

- ・以下に、委員の皆様からいただいた主なご意見をご紹介します。

委員の皆様からいただいた主なご意見

【市の発展に向けて】

- ・吉野川市の拠点性を高めるためには、人口増加をめざして行くことが重要であり、大規模な商業施設の立地を促すことも考えていくべきではないでしょうか。
- ・人口の減少が進む中で、今の子供たちが大人になったとき、吉野川市に住み続け、吉野川市で働き、吉野川市で買物ができるような姿になれば良いと思っています。

【土地利用について】

- ・大規模な商業施設の立地が進まない理由として、線引き*が邪魔しているということもあるのではないのでしょうか。今回の計画では、そのようなことも検討する必要があると思います。
- ・市街化調整区域では、子息の家を建てるにも規制や手続きなどが存在するので、規制の緩和などができないものではないのでしょうか。
- ・農業が厳しい状況にある中で、街中でも耕作放棄地の増加がみられています。この計画でも農業における土地利用との整合を図っていくことが重要だと思います。



「線引き」ってなに？

都市計画では、積極的にまちをつくる範囲を「市街化区域」、山やたんぼなどの自然を守るエリアを「市街化調整区域」の2つに分けているんだよ。これを「線引き（区域区分）」とよんでいるよ。



【市民意向について】

- ・市民意向をみると、市の中心部におけるにぎわいを取り戻すことと、大規模な店舗が欲しいというような、方向性が異なる意見もみられています。このような意見も踏まえつつ、検討していくことが重要だと思います。

【計画策定について】

- ・吉野川市全体の計画ということで、都市計画区域である鴨島地区だけでなく、周辺の実現についても検討していくことが重要だと考えます。
- ・委員・市民の皆様方の意見をお聞きしながら、吉野川市らしい都市計画マスタープランが出来ることを期待しています。

今後の予定

- ・吉野川市都市計画マスタープランは、今年度と来年度の2カ年をかけて策定していきます。今年度は、主に市全体の整備構想の策定、来年度は、主に地域別構想の策定を予定しています。
- ・また、市民の皆様方からの幅広い意見聴取として、第2弾のアンケート調査や地域別懇談会を予定しています。皆様方のご協力を、よろしくお願いいたします。
- ・今後も、多様な機会を活かして情報提供に努めてまいりたいと考えています。ご質問・ご意見などありましたら、事務局までご連絡ください。